

# ㊦ 新日軽 自転車置場 LC型 施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当施工マニュアルをお読みください。
- 積雪地方でのご使用は避けてください。
- 埋設物（ガス管・水道管）の有無を確認の上、柱位置を設定してください。
- 車輪止めバーをお取付けいただく場合は、バー取付部品梱包内の施工マニュアルを先にご覧ください。

## ■工事店様へのお願い

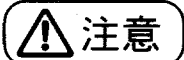
- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。
  - (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
  - (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
  - (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
  - (4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
  - (5) アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
  - (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- みだりに改造等の仕様変更は避けてください。
- 施工終了後、施工マニュアルと取扱い説明書は施主様へお渡しください。

## ■施工上の注意

- 商品の施工については必ず施工マニュアルに従ってください。また、施工完了後に施工マニュアルと取扱い説明書を施主様にお渡しください。
- 一般地域用や積雪地用など、設置する地域の気象条件に合わせて適応したものをご使用ください。
- 屋根の雪などが落下の恐れのある場所、または強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所への設置はしないでください。
- 自転車置場屋根を傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。

## ■安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…この取扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

注意事項……………

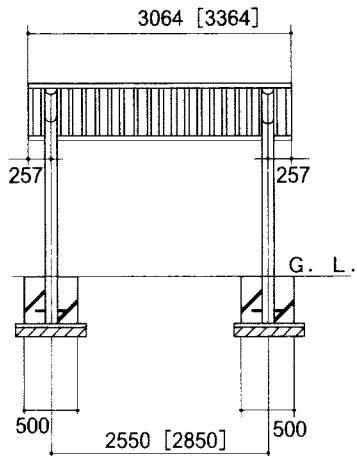
- ⚠ **注意** ● 積雪が30cmを超える前に雪降ろしをしてください。屋根が雪の重さでつぶれる危険があります。
- ⚠ **注意** ● 当製品は地上設置高さ5m以下（1階設置）、風速30m/秒に耐える仕様となっています。常時風当たりの非常に強い場所（崖縁等）、又は軟弱地盤での設置は避けてください。
- ⚠ **注意** ● 当製品は自転車置場です。物置き、遊び場、或いは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造、変更をしないでください。

■規格・拾い出し

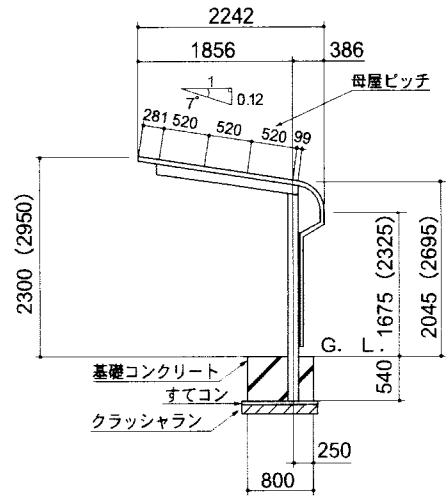
製品名称	製品記号	単体・連棟								背面合掌						梱包明細	
		連棟数		単体		2		3		単体		2		3			
		型式	30	33	30+25	33+28	30+25+25	33+28+28	30	33	30+25	33+28	30+25+25	33+28+28			
柱	TNEE P18A		2	2	3	3	4	4								柱1本	
	P25A		②	②	③	③	④	④								長柱1本	
	P18AA		(2)	(2)	(3)	(3)	(4)	(4)								バー取付柱1本	
	P18GA								4	4	6	6	8	8		背面合掌柱1本	
	YP25A								④	④	⑥	⑥	⑧	⑧		背面合掌長柱1本	
柱ジョイント	YPJA							2	2	3	3	4	4		柱ジョイント2本		
梁	D22A		2	2	3	3	4	4	4	4	6	6	8	8		梁1本	
母屋	M30A		1		1		1		2		2		2			母屋4本	
	M33A			1		1		1		2		2				母屋4本	
連棟用母屋	RM25A				1		2				2		4			連結母屋4本	
	RM28A					1		2			2		4			連結母屋4本	
ジョイナー	JA		2	2	3	3	4	4	4	4	6	6	8	8		ジョイナー1個	
側枠	G22B		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2		左右側板各1本	
前後枠	L30A		1		1		1									前枠1本、横樋1本 たて樋1本	
	L33A			1		1		1								前枠1本、横樋1本 たて樋1本	
連棟用前後枠	RL25A				1		2									連結前枠1本、連結横樋1本 たて樋1本	
	RL28A					1		2								連結前枠1本、連結横樋1本 たて樋1本	
背面合掌 前後枠	YL30A								1		1		1			前枠2本、背面合掌横樋1本 背面合掌たて樋1本	
	YL33A									1		1		1		前枠2本、背面合掌横樋1本 背面合掌たて樋1本	
背面合掌 連棟用前後枠	RYL25A										1		2			連結前枠2本、背面合掌横樋1本 背面合掌たて樋1本	
	RYL28A											1		2		連結前枠2本、背面合掌横樋1本 背面合掌たて樋1本	
標準部品箱	BOX0A		1		1		1									取扱説明書、施工マニュアル 部品明細、部品一式	
	BOX3A			1		1		1								取扱説明書、施工マニュアル 部品明細、部品一式	
連棟部品箱	BOX5A				1		2									部品一式	
	BOX8A					1		2								部品一式	
背面合掌 部品箱	BOXY0A								1		1		1			取扱説明書、施工マニュアル 部品明細、部品一式	
	BOXY3A									1		1		1		取扱説明書、施工マニュアル 部品明細、部品一式	
背面合掌 連棟部品箱	BOXY5A										1		2			部品一式	
	BOXY8A											1		2		部品一式	
屋根材	FA22A			2		2		2		4		4		4		4	屋根パネルA 3枚
	FA22B				1		2				2		4		4	4	屋根パネルA 4枚
	FA22C		2	1	2	2	2	3	4	2	4	4	4	4	6	屋根パネルA 5枚	
	FA22D				1	1	2	2			2	2	4		4	4	屋根パネルA 4枚・B 1枚
車輪止めバー	KC301A		(1)		(1)		(1)		(2)		(2)		(2)		(2)	(2)	車輪止めバー1本
	KC331A			(1)		(1)		(1)		(2)		(2)		(2)	(2)	(2)	車輪止めバー1本
	KC251A				(1)		(2)		(1)		(2)		(4)		(4)	(4)	連結車輪止めバー1本
	KC281A					(1)		(2)		(2)		(2)		(4)	(4)	(4)	連結車輪止めバー1本
車輪止めバー 部品箱	KCBOXA		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)									施工マニュアル、部品一式
	KCBOXB				(1)	(1)	(2)	(2)									部品一式
	KCBOXC								(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	施工マニュアル、部品一式
	KCBOXD										(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	部品一式
梱包数合計	標準型		12	13	20	21	28	29	24	26	39	41	54	56			
	車輪止めバー付		14	15	24	25	34	35	27	29	45	47	63	65			

注) 長柱使用時には○内を、車輪止めバー付には( )内を拾い出してください。

## ■単体姿図



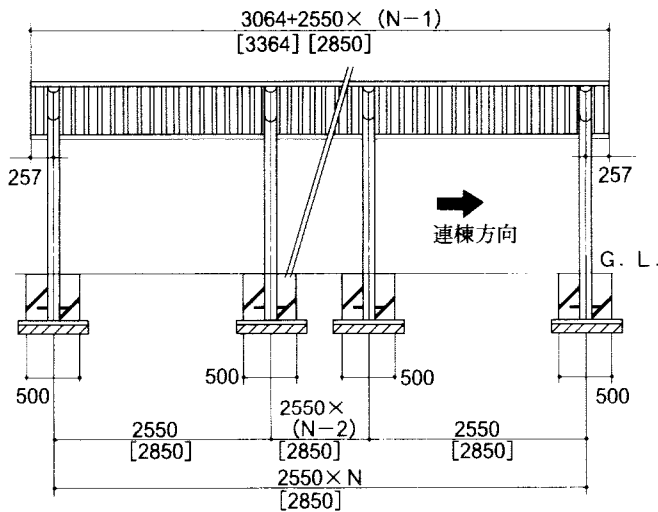
・ [ ] 内寸法は 3 3 型タイプ  
を示す。



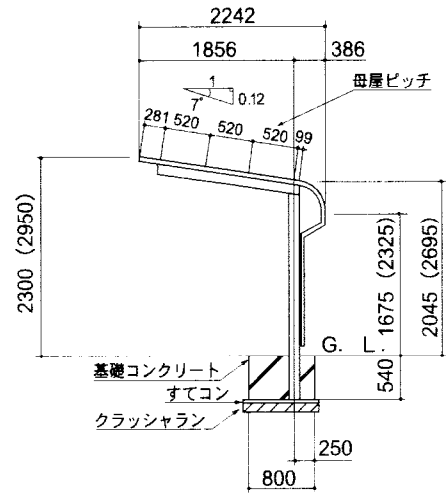
・ ( ) 内寸法は長柱タイプ  
を示す。

## ■連棟タイプ姿図

連棟は必ず単体の右側に行ってください。

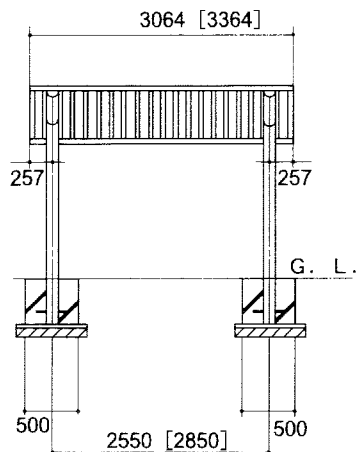


・ [ ] 内寸法は 3 3 型・2 8 型タイプ N : 連棟台数を  
示す。

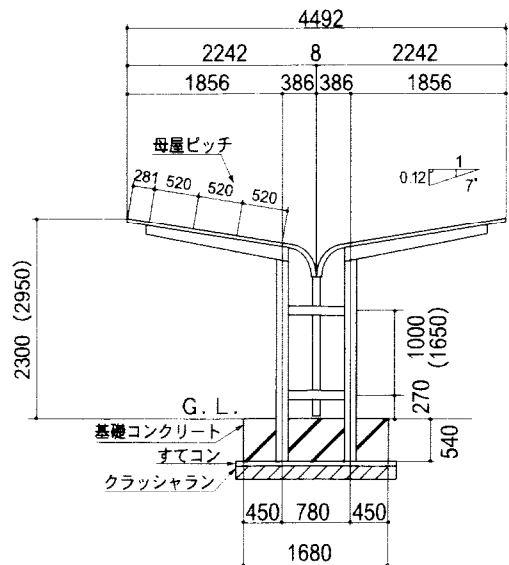


・ ( ) 内寸法は長柱タイプ  
を示す。

## ■背面合掌姿図

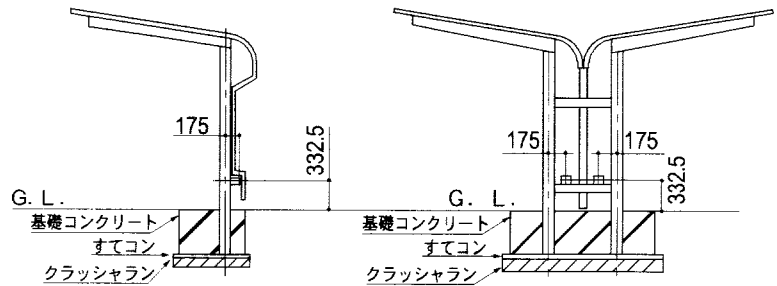
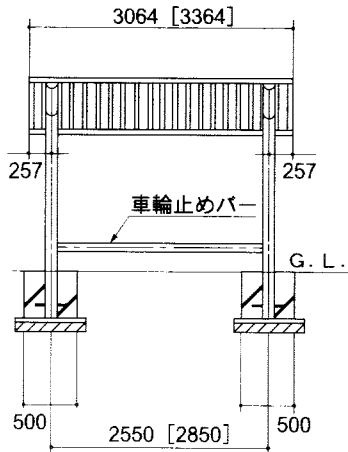


・ [ ] 内寸法は 3 3 型タイプ  
を示す。



・ ( ) 内寸法は長柱タイプを示す。

## ■車輪止めバー単体姿図

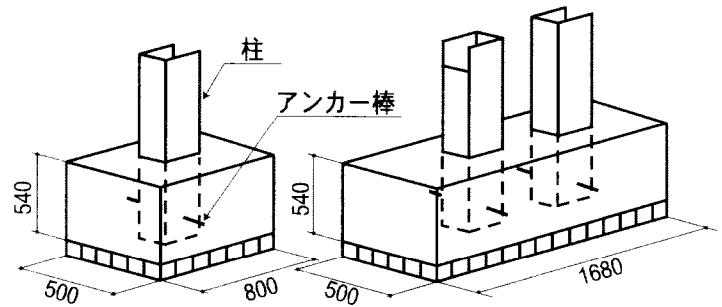


### 1 基礎の施工

- ① 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- ② コンクリートの施工は骨組み完了後に行ってください。
- ③ 必ずアンカー棒を使用してください。
- ④ 基礎寸法及び埋め込み寸法は、図の寸法以下にならないように施工してください。

単体・連棟

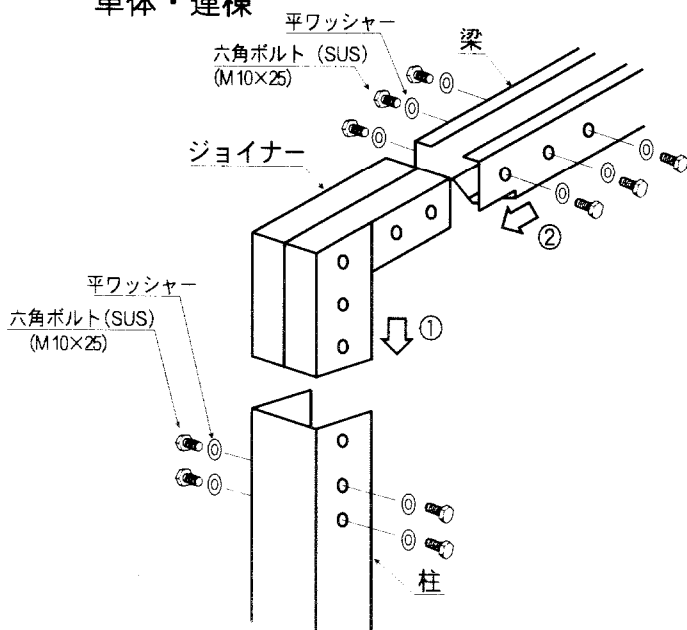
背面合掌



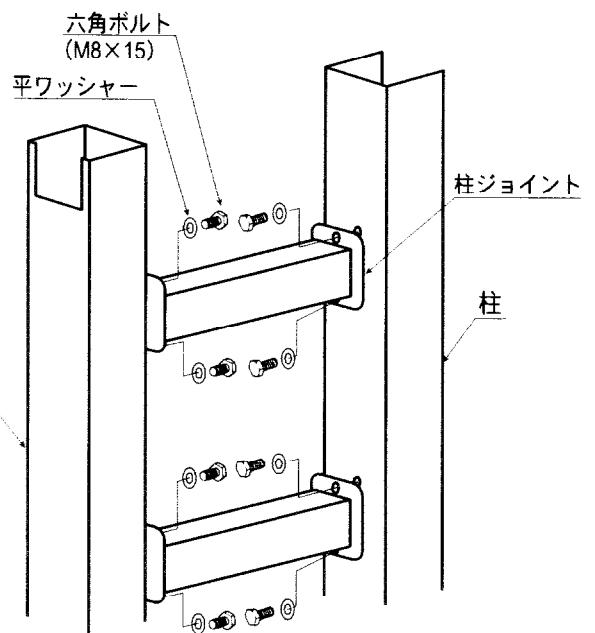
### 2 梁の取付

単体・連棟

背面合掌



柱・梁にジョイナーを差し込みボルトで固定してください。

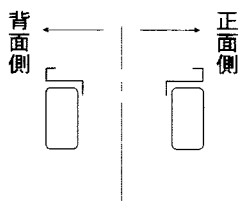
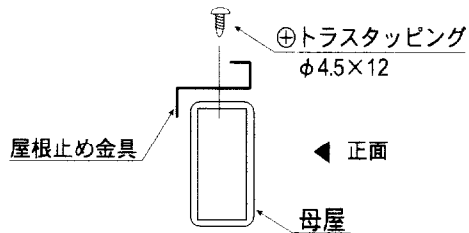


- [1] 柱と柱を柱ジョイントでつなぎ合わせます。
- [2] 柱・梁にジョイナーを差し込みボルトで固定してください。

### [3] 母屋の取付

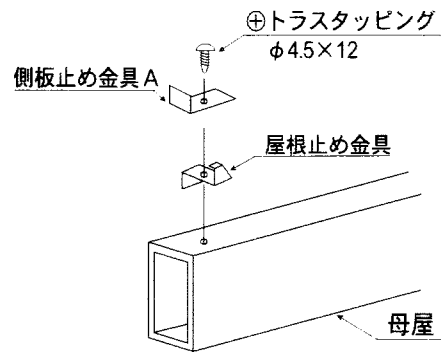
#### [1] 屋根止め金具の取り付け

母屋取り付け前、屋根止め金具を母屋にビス止めして下さい。



背面合掌の場合、1台当り8本の母屋を使用しますが、4本づつ屋根止め金具を逆向きにビス止めして下さい。

#### [2] 側板止め金具の取り付け



[単体の場合]

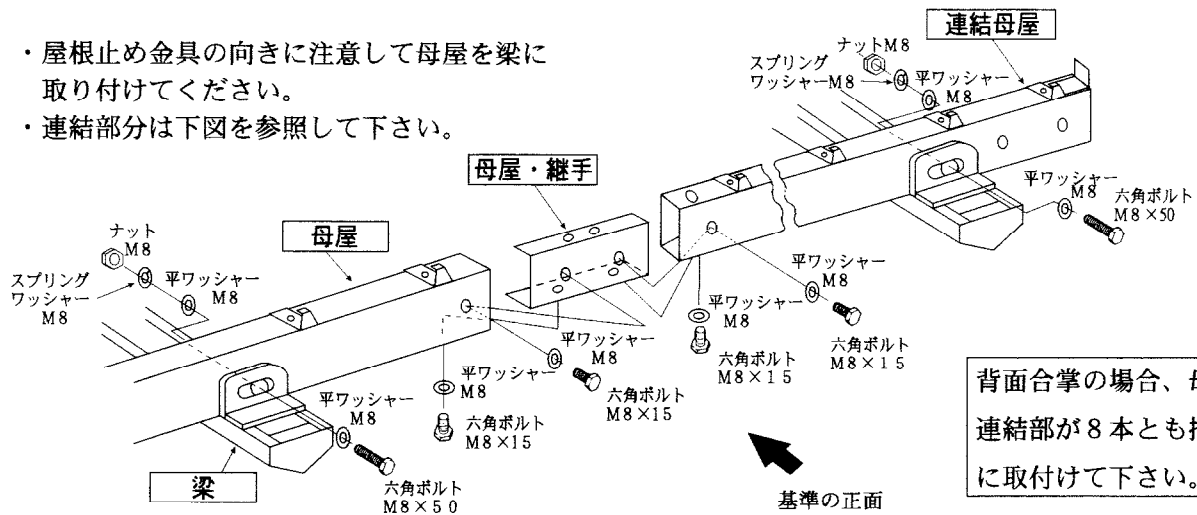
母屋の両端に取り付けます。

[連棟の場合]

基準型の母屋左端と、最終連棟の連結母屋右端に取り付けます。

#### [3] 母屋・梁の取り付け

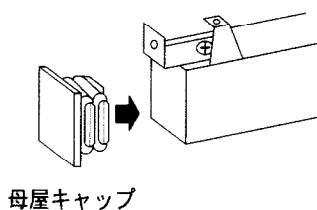
- ・屋根止め金具の向きに注意して母屋を梁に取り付けてください。
- ・連結部分は下図を参照して下さい。



背面合掌の場合、母屋の連結部が8本とも揃う様に取付けて下さい。

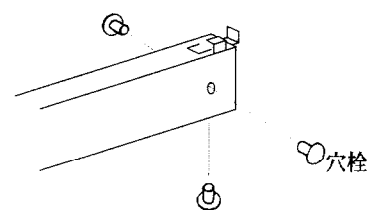
#### [4] 母屋キャップの取り付け

母屋の両端にキャップを取り付けます。



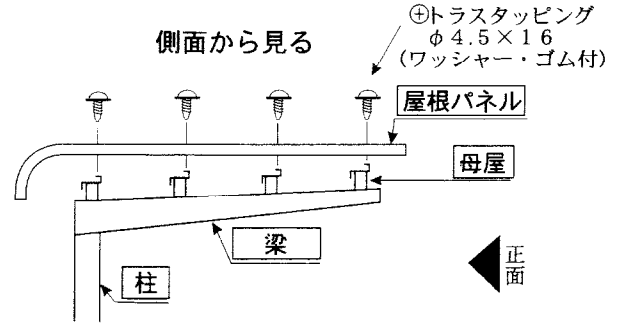
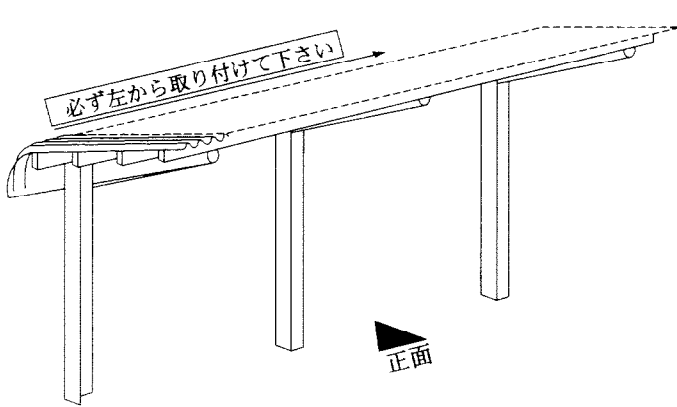
#### [5] 穴栓の取り付け

母屋、連結母屋を全て取り付け後、左右の両端にφ10の使用しなかった穴に穴栓を接着剤で取付けて下さい。



## 4 屋根パネルの取付

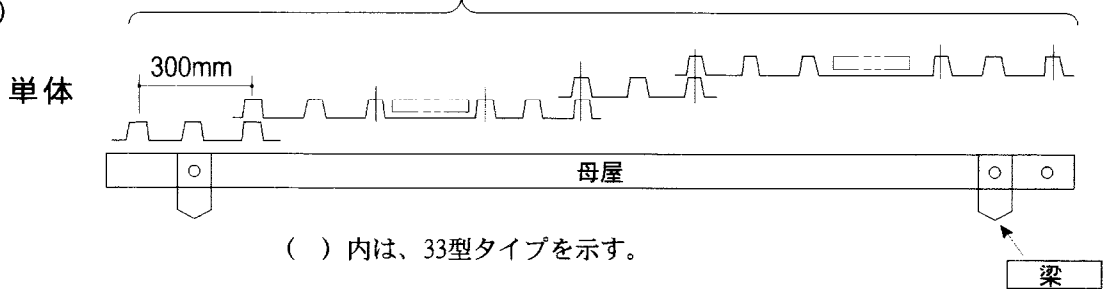
屋根パネルを正面からみて左から取り付けます。



間口方向の納まり  
(正面から見る)

◇30型 (33型)

屋根パネルA : 10枚すべて1山重ねです。

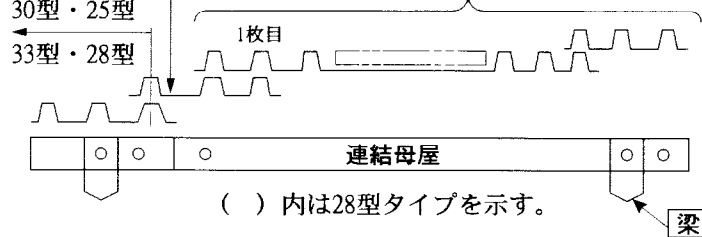


◇25型 (28型)

屋根パネルB : 1枚

屋根パネルA : 8枚...1枚目のみ2山重ねです。  
(9) 2枚目以降は1山重ねです。

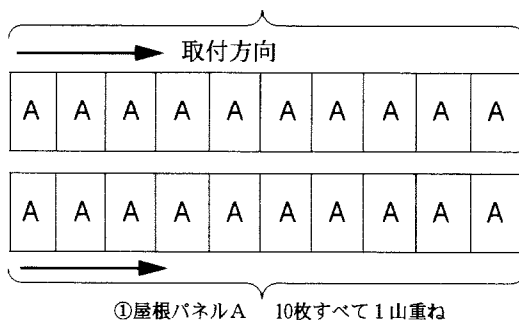
連棟



背面合掌

30型

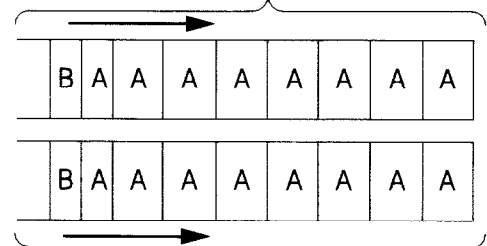
①屋根パネルA 10枚すべて1山重ね



①屋根パネルA 10枚すべて1山重ね

25型

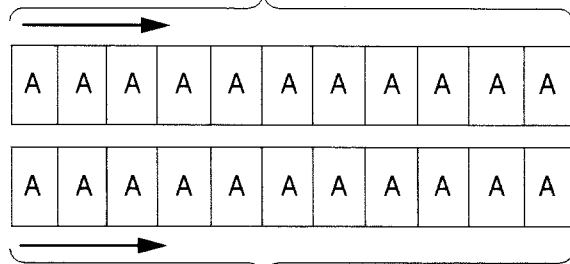
①屋根パネルB 1枚 ③屋根パネルA 7枚1山重ね  
②屋根パネルA 1枚2山重ね



①屋根パネルB 1枚 ③屋根パネルA 7枚1山重ね  
②屋根パネルA 1枚2山重ね

33型

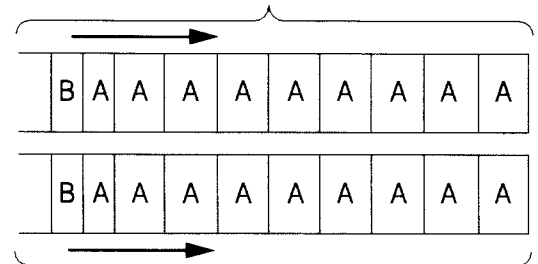
①屋根パネルA 11枚すべて1山重ね



①屋根パネルA 11枚すべて1山重ね

28型

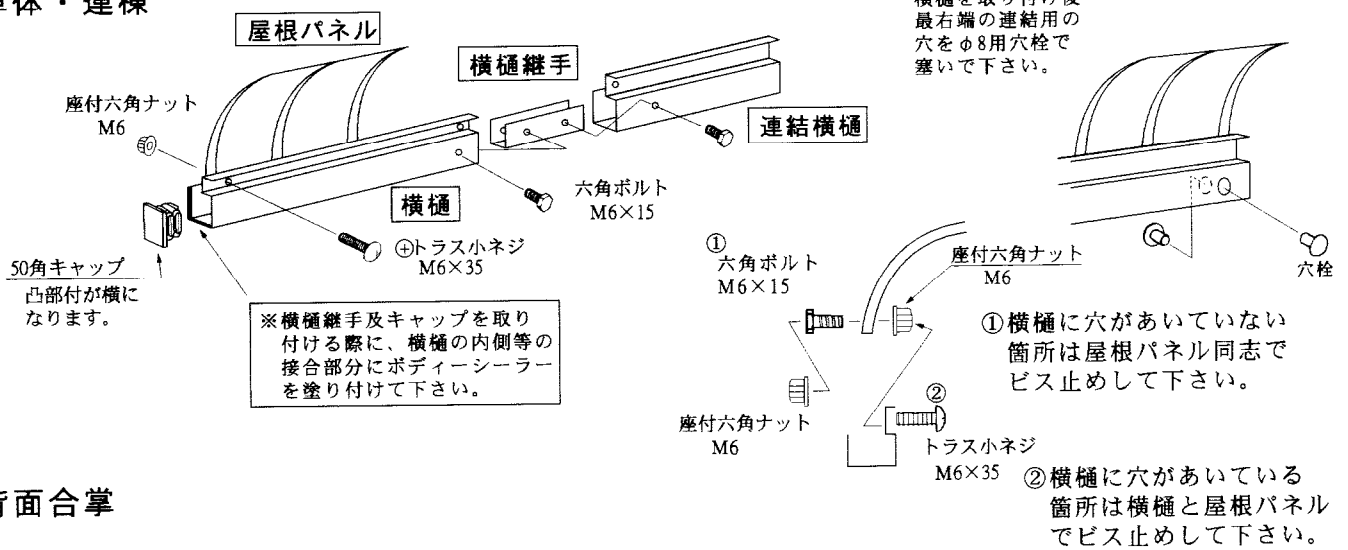
①屋根パネルB 1枚 ③屋根パネルA 8枚1山重ね  
②屋根パネルA 1枚2山重ね



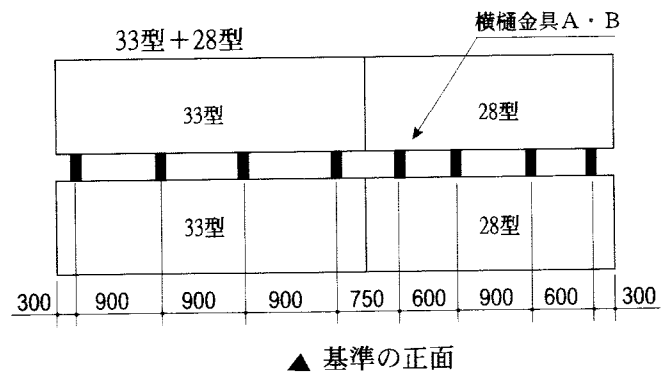
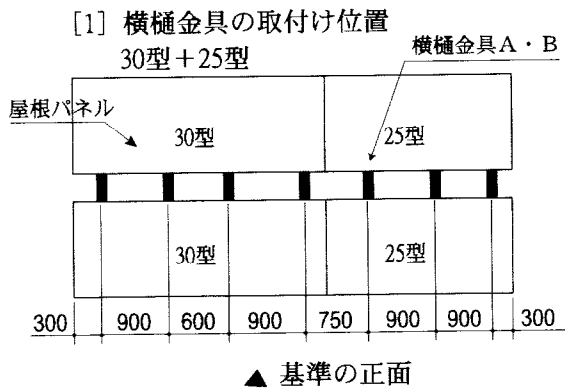
①屋根パネルB 1枚 ③屋根パネルA 8枚1山重ね  
②屋根パネルA 1枚2山重ね

## 5 横樋の取付

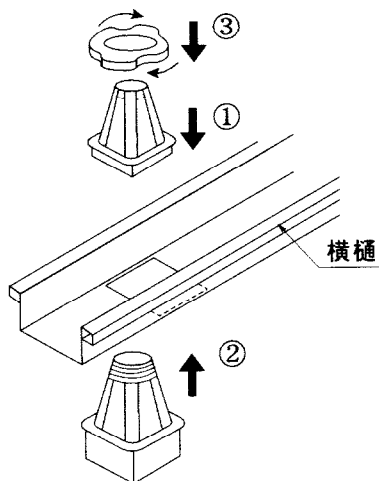
### 単体・連棟



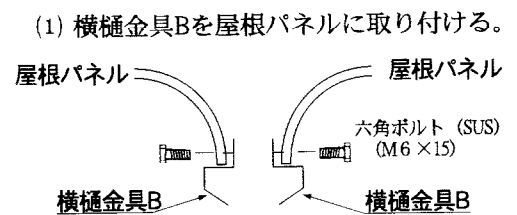
### 背面合掌



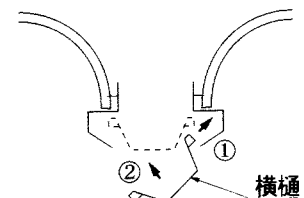
[2] ドレンの取付け (横樋を取り付ける前に取付けます)



[3] 横樋を横樋金具に差し込む。

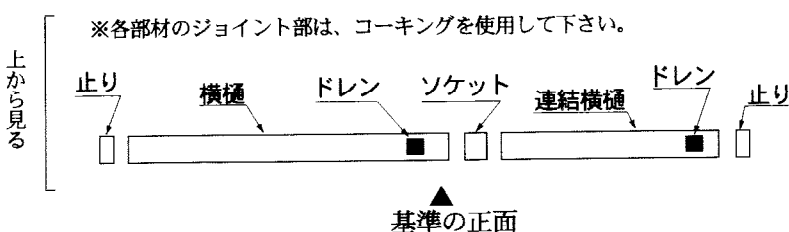


(2) 横樋を差し込む

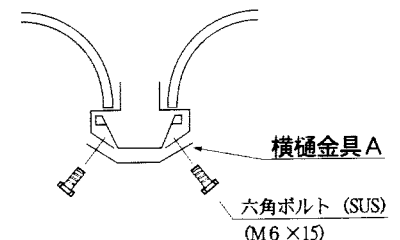


[4] 止り・ソケットの取付け

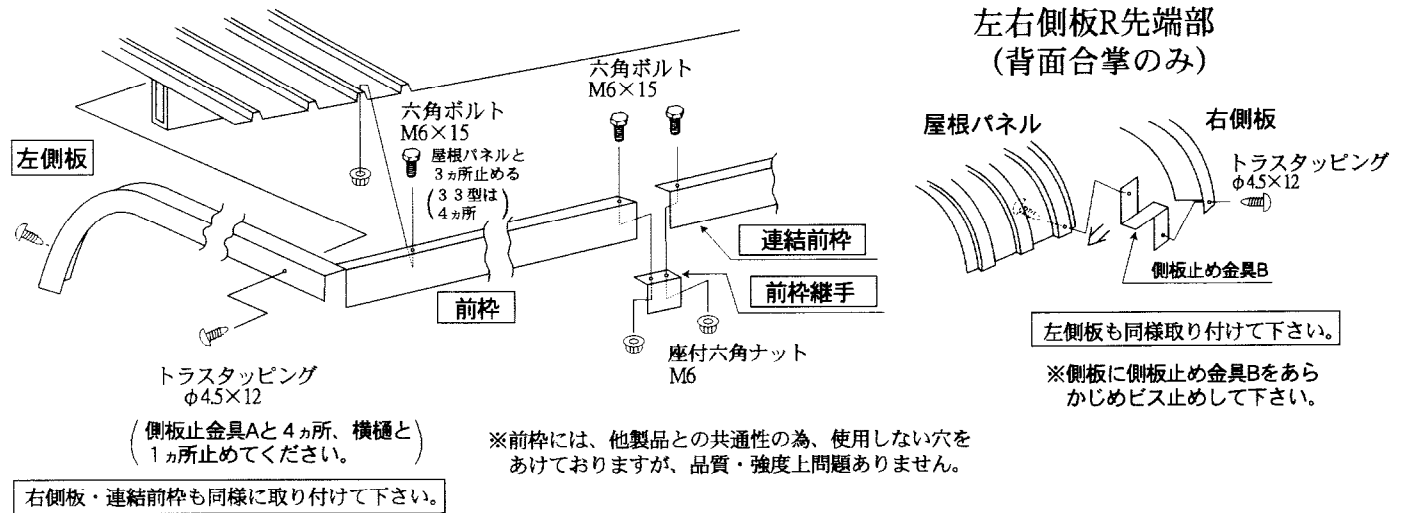
横樋の両端には止り、連結部分にはソケットを取り付けます。



(3) 横樋金具Aを取り付ける。

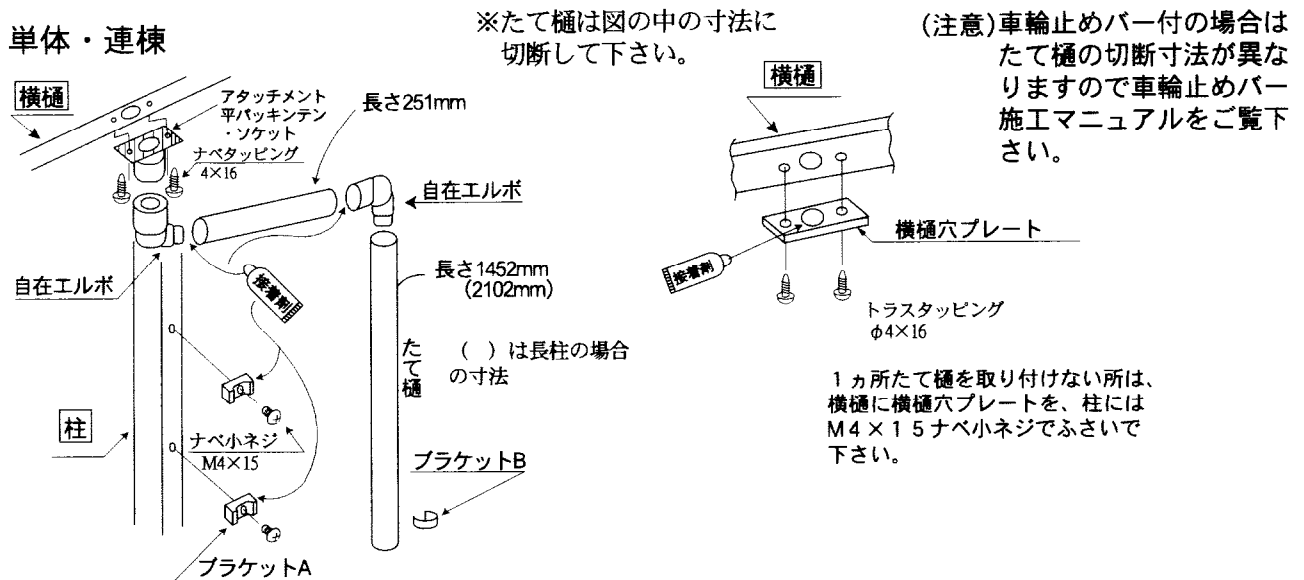


## 6 前枠・左右側板の取り付け



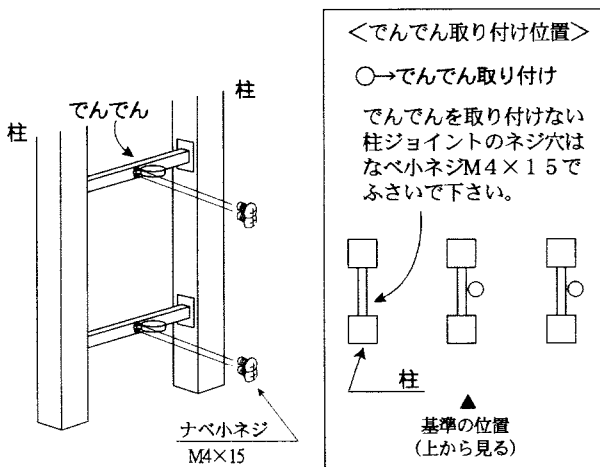
## 7 たて樋の取り付け

### 単体・連棟

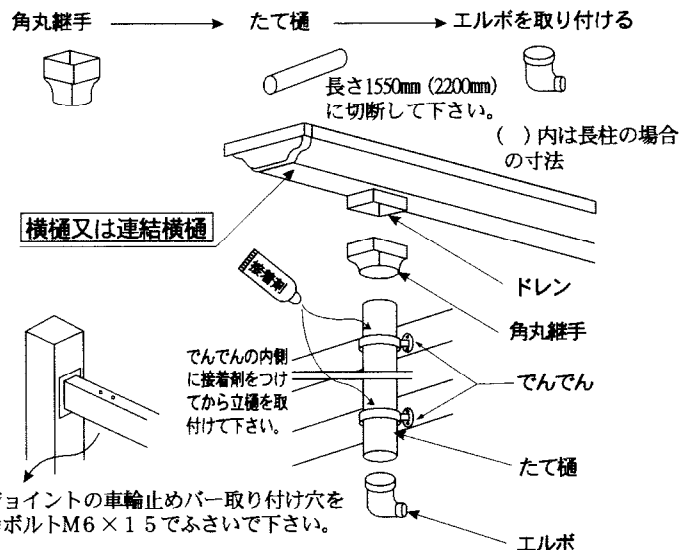


### 背面合掌

#### [1] 柱ジョイントにでんでんを付ける



#### [2] たて樋の取り付け



以上で完成となりますが、最後に各部のビス・ボルト類の締め忘れがないように点検・確認した上でご使用下さい。